

報道関係各位

大塚オーミ陶業 創業45周年記念 シンポジウムの開催
やきもの・これから in Shigaraki
陶と文化財 ～ セラミックアーカイブの可能性 ～

大塚オーミ陶業株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:大杉栄嗣、以下「大塚オーミ陶業」)は、このたび、創業45周年を迎えるにあたり、「やきもの」のこれからの可能性を伝える記念シンポジウムを開催しますのでお知らせします。

「やきもの」の起源は約1万5千年も前(前縄文の時代)にさかのぼると言われています。大塚オーミ陶業は、長い年月で培われたモノづくりの技に現在の新しい技術を加えることで、後世に文化財を継承することが可能な大型陶板製造技術を確立しました。また現在でも、「次世代に伝えていかなければならないモノやコトを『やきもの』に記録できないだろうか」とキトラ古墳壁画の陶による複製などを通じ、セラミックアーカイブ*1と称する方法で試行錯誤を繰り返しています。

当社は、50周年を目前に控え、本年を記念の年として、このたび記念事業プロジェクトを立ち上げます。その一環として、「やきもの」が秘める可能性を引き出し、新しい価値を創造するセラミックアーカイブの可能性を伝えるため、シンポジウムを企画しました

大塚グループの一員である大塚オーミ陶業は、1973年に設立され、六古窯*2のひとつである信楽を製造拠点として、創造性のある陶板作品を製作しています。大塚グループの「大塚国際美術館(徳島県)」をはじめ、「中之島フェスティバルタワー 牧神、音楽を楽しむの図 レリーフ(大阪府)」、「成田空港(千葉県)」、「みなとみらい線 元町中華街駅(神奈川県)」、「陶によるキトラ古墳壁画の複製等業務(奈良県)」等の公共空間・文化財の複製を行っており、これらの作品を通じ、世界中の文化財、芸術作品を後世に伝え、人々へ貢献すること目指しています。



キトラ古墳壁画【天空図】部分

*1: セラミックアーカイブ: 大塚オーミ陶業と金沢大学フレスコ壁画研究センターが、歴史遺産・文化遺産等の保存修復のあり方を検証する中、デジタルアーカイブを利用した記録のあり方を考えた推奨するひとつの記録方法。デジタルアーカイブと当社が有するセラミックス技術を融合し、やきものの特性である耐候性や耐久性、弊社の独自技術による色彩再現や質感表現を利用して、文化財等の記録・保存に応用・転用する可能性を陶にて、実現している。

*2: 六古窯: 数百年から千年を超える歴史を持つやきもの産地(信楽、瀬戸、越前、常滑、丹波、備前)

記

***** シンポジウム概要(詳細は別紙参照) *****

- 日 程 2017年11月4日(土)
- 場 所 滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館 信楽ホール
- 内 容 シンポジウム 13:00~16:30 (受付開始 12:30~)

開会挨拶

13:00 ~ 大杉栄嗣 大塚オーミ陶業(株)代表取締役社長

基調講演

13:10 ~ 「記憶と記録」 姜尚中氏

記念講演

14:00 ~ 「イタリアにおける中世壁画の保存と修復活動への貢献」

金沢大学名誉教授 宮下 孝晴氏

14:30 ~ 「日本の絵画を伝える～画像と技術のアーカイブ～」

東京藝術大学大学院 保存修復日本画研究室 准教授 荒井 経氏

15:00 ~ 「文化財のアーカイブ～縄文土器と古墳壁画の話を中心に～」

文化庁 文化財部 古墳壁画室古墳壁画対策調査官 建石 徹氏

パネルディスカッション

15:40 ~

テーマ: 「やきもの・これから (in Shigaraki) 」

— 陶と文化財 ～ セラミックアーカイブの可能性 ～ —

パネリスト: 宮下 孝晴氏、荒井 経氏、建石 徹氏

閉会 ~16:30

- 主催: 大塚オーミ陶業株式会社、大塚国際美術館
- 後援: 滋賀県、滋賀県教育委員会、甲賀市、甲賀市教育委員会、
滋賀県立陶芸の森、京都新聞、(株)共同通信社
- 協力: 信楽焼振興協議会

【主催概要】

■大塚オーミ陶業株式会社(Otsuka Ohmi Ceramics Co., Ltd.)

大塚オーミ陶業株式会社は、大塚ホールディングス株式会社の子会社であり、創造性のある陶板作品を通し、日本国内のみならず世界中の文化財、芸術作品を後世に伝え人々へ貢献することを目指しています。

設 立 : 1973年(昭和48年)7月
資 本 金 : 3億円
代 表 者 : 代表取締役社長 大杉栄嗣(おおすぎ えいつぐ)
本社所在地 : 〒540-0021 大阪府中央区大手通 3-2-21
従 業 員 数 : 58名(2017年9月1日現在)
事 業 内 容 : 大型陶板 陶板名画 陶壁 レリーフ テラコッタ OTセラミックス
肖像陶板 サイン陶板 各種設計・デザイン・製作・施工
U R L : <https://www.ohmi.co.jp/>

■大塚国際美術館(OTSUKA MUSEUM OF ART)

古代壁画から世界25カ国190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1000点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に再現しています。レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことはあるような名画が一堂に会し、日本にいながら世界の美術館を体験できます。

開 館 : 1998年(平成10年)3月
所 在 地 : 〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内
U R L : <http://www.o-museum.or.jp/>

この件に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

大塚オーミ陶業株式会社

担当：村上 E-mail：Murakami.Sayuri@otsuka.jp

〒529-1836 滋賀県甲賀市信楽町柞原 926

TEL：0748-82-3001 FAX：0748-82-2125

大塚オーミ陶業株式会社 創業45周年記念シンポジウム

入場無料・要申込(定員150名・抽選制)

やきもの・これから

陶と文化財〜セラミックアーカイブの可能性〜

in
Shigaraki

2017年 11月4日 土

13時〜16時30分(受付開始12時30分)

滋賀県立陶芸の森
信楽産業展示館 信楽ホール

基調講演

東京大学 名誉教授 姜尚中氏

『記憶と記録』

記念講演

金沢大学 名誉教授 宮下 孝晴氏

『イタリアにおける中世壁画の保存と修復活動への貢献』

東京藝術大学大学院 保存修復日本画研究室 准教授 荒井 経氏

『日本の絵画を伝える〜画像と技術のアーカイブ〜』

文化庁文化財部 古墳壁画室古墳壁画対策調査官 建石 徹氏

『文化財のアーカイブ〜縄文土器と古墳壁画の話を中心に〜』

このたび、

「やきもの・これから in Shigaraki」
をキーワードに、

滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館
信楽ホールにて、記念シンポジウムを

開催する運びとなりました。

基調講演では、東京大学名誉教授の

姜尚中氏に『記憶と記録』をテーマに

ご講演いただきます。

記念講演では、弊社の取組みに関連する

各分野の専門家から

ご講演いただくとともに、

パネルディスカッションにおいて

「セラミックアーカイブの可能性」について、

やきもの新たな価値の創造・可能性を

探っていきたいと思います。

主催：大塚オーミ陶業株式会社

<https://www.ohmi.co.jp/>

大塚国際美術館
OTSUKA MUSEUM OF ART

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、甲賀市、
甲賀市教育委員会、滋賀県立陶芸の森、
京都新聞、(株)共同通信社

協力：信楽焼振興協議会

講演者紹介

金沢大学 名誉教授

宮下 孝晴氏

1949年東京都生まれ。イタリア美術史家。金沢大学名誉教授。1973～84年まで在伊。日伊共同プロジェクト(サンタ・クローチェ教会壁画修復・南伊の洞窟教会壁画群調査)を統括。2010年、イタリア共和国より「カヴァリエーレ(騎士)章」受章。『フレスコ画のルネサンス—壁画に読むフィレンツェの美』(NHK出版)など著書多数。



東京藝術大学大学院 保存修復日本画研究室 准教授

荒井 経氏

1967年栃木県生まれ。日本画家・東京藝術大学大学院准教授。画家として個展を中心に活動しながら、日本画の技法研究ならびに文化財の保存修復や復元事業に携わる。単著『日本画と材料—近代に創られた伝統』(武蔵野美術大学出版局2015年、倫雅美術奨励賞)、分担執筆『図解日本画用語事典』(東京美術2007年)など。



文化庁 文化財部 古墳壁画室古墳壁画対策調査官

建石 徹氏

1969年東京都生まれ。文化庁文化財調査官。美術工芸品、史跡等の保存・活用について、主に自然科学の手法を用いて取り組んでいる。単著『縄文土器—前期—』(至文堂)、共編著『キトラ古墳壁画』(朝日新聞社)など。



プログラム(予定) ※予告なく変更する可能性があります。

- 12:30- 受付開始
- 13:00- 開会挨拶
大塚オーミ陶業(株)代表取締役 大杉 栄嗣
- 13:10- 基調講演
姜尚中氏
- 14:00- 記念講演
宮下 孝晴氏
荒井 経氏
建石 徹氏
- 15:40- パネルディスカッション
『やきもの・これから in Shigaraki
陶と文化財—セラミックアーカイブの可能性—』
宮下 孝晴氏、荒井 経氏、建石 徹氏
- 16:20- パネルディスカッション感想
姜尚中氏、大杉 栄嗣
- 16:30 閉会

お申込み方法

官製ハガキに下記の必要事項をご記入のうえ、2017年10月23日(月)必着にてお送りください。ご当選された申込者の方へは25日(水)までに参加証を投函します。当選は参加証の発送をもってかえさせていただきます。年齢制限は特にございませんが、進行を妨げる行為があった場合、退室をお願いすることがあります。

宛先

株式会社WAVE内 「やきもの・これから」係 宛
〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-20 明治安田生命大阪梅田ビル3階

- ①申込者氏名(ふりがな) ②住所
- ③電話番号 ④E-mail
- ⑤同行者氏名(ふりがな) ※お一人まで
- ⑥駐車場ご利用数 ※駐車場には限りがございます。ご了承ください。

※お申し込みいただいた個人情報については法令に従い安全かつ適正に管理し、今回のイベント受付及びご本人への連絡、今後開催するイベント、講演会のご案内にのみ使用させていただきます。
※上記内容について同意された方のみ、お申し込みください。
※本イベントの運営事務局は、株式会社WAVEがサポートしています。

お問い合わせはこちら

大塚オーミ陶業株式会社 Tel.0748-82-3001
担当: 村上

滋賀県立陶芸の森

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7



展示会のご案内

多彩な表現展2017

2017
10/3(火) - 11/19(日) 9:30-17:00
(入館は16:00まで)

間近に見て、触れて!NIPPONの美を肌で感じる。
陶板(toban)の魅力をご存分にお楽しみください。

会場 大塚国際美術館 地下3階センターホール(休館日:毎週月曜日・10/9開館・10/10休館)
入館料 小中高生540円/大学生2,160円/一般3,240円(税込)
※前売り券は各コンビニ店舗にてお買い求めいただけます。

大塚国際美術館

徳島県鳴門市にある世界で唯一の「陶板名画美術館」です。大塚オーミ陶業株式会社の特殊技術で陶板化された世界の名画1000余点が、原寸大かつ寸分違わぬ姿で陶板に再現され、一堂に展示されています。
<http://o-museum.or.jp/>

YAKIMONO FESTA 2017 第85回信楽陶器総合展「焼物のチカラ」

2017
10/7(土) - 11/5(日) 9:00-17:00

日本遺産に認定された日本六古窯の産地のひとつ、信楽。ここから、六古窯や焼物の魅力を発信します。

会場 信楽産業展示館 展示場(滋賀県立陶芸の森)
入館料 無料